

総合工学委員会・機械工学委員会合同
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会
安全目標の検討小委員会（第24期・第1回）議事録

1. 日時 平成30年4月27日（金）10:00～12:00
2. 場所 日本学術会議
3. 出席者 （敬称略）

【委員】 成合英樹、柴山悦哉、須田義大、田村兼吉
野口和彦、松岡 猛、向殿政男、中村昌允

4. 議事

(1) 役員を選出について

今期の委員長として、成合英樹氏が選出された。

委員長より、副委員長に野口和彦氏、幹事に中村昌允氏が指名された。

資料1に記載した委員名簿を確認。田村兼吉委員の所属・職名を、横浜国立大学客員教授から運輸安全委員会委員に修正する。

(2) 今期の活動方針

野口副委員長より、小委員会活動概要（案）が、資料2に基づいて説明され承認された。

①確認事項

今期で、「工学システムの安全目標」を「提言」としてまとめる。

「工学システムの安全目標」を社会安全目標と位置つけて、必要性・有効性を明確にし、社会安全目標の活用方法を構築する。

1年目 各課題の検討の深化 （2019年3月頃）

2年目 安全目標体系の再構築

3年目 安全目標の社会実装での検証 （2020年3月頃）

②主な意見

- ・安全目標は、各分野の細部までは決めきれないので、「提言」は、全体目標を大枠として提示し、参考として各分野の安全目標を示す。
- ・各分野で、規制に対する捉え方に違いがあるので、規制と工学システムの安全目標（基準A, 基準B）との関係を整理する必要がある。
例えば、規制を基準Aと捉える業界、基準Bと捉える業界がある。
- ・事業者の目標の捉え方と、社会の安全目標との関係を整理する。
- ・委員が直接関係していない分野がある。（例えば、航空、労働安全 等）
この様な分野は、民間ゲストも含めて、その業界の安全に対する考え方を聴く。

→ 次回は、田村委員の紹介で、航空関係者をゲストスピーカー
(後述のように、ANAよりゲストスピーカー)

- ・ これまでは、安全を事業者責任として捉えてきたが、社会全体の観点からの安全に対する整理が必要。
- ・ 安全には、国の社会の安全を俯瞰した統一した取り組みが必要である。そのためには、省庁間の縦割り行政が課題となっている。この小委員会の提言が、「安全基本法」のような大枠のまとめに反映できるようにしたい。

＜参考＞ 英国は、HSE（安全衛生庁）が安全行政を一括管理

- ・ 「自動車の自動運転」が進展することによって、責任の所在の考え方が変わってくる。

(自動車の所有者、自動運転車を提供したメーカー、社会として保険のような仕組み、リスクに対する原因系の違う取り組みであるシェアティのような考え方 等)

- ・ 情報セキュリティに関する基本は、各事業者でセキュリティ人材を育成することと、自分の組織は自分で守るという意識であるが、それと共に、社会に対する影響を考えることが必要である。
- ・ 事故は完全には防止できない

→ 事故が起きた後の対策の考え方が、日本社会には不足している。

事故の拡大防止、社会から見た「レジリエンス」、BCP（事業継続プラン：business continuity plan）等の考え方が必要。

(3) 安全工学シンポジウムについて

松岡会員より資料3に基づき安全工学シンポジウムについて説明された。

- ① 「工学システムの社会安全目標の実用化に向けて」セッションは、7月5日（木）午後（13：40～15：40）に開催する。

② セッション概要

＜発表＞

・ 今期の方針 野口副委員長 (15分)

・ 各分野の深化

プラント 化学 中村委員 (15分)

原子力 成合委員長 (15分)

インフラ系（鉄道） 須田委員 (15分)

情報 柴山委員 (15分)

安全全般 向殿委員 (15分)

＜パネルディスカッション＞ (30分)

(4) その他

- ① 議事録の作成方法について
議事録は委員会での承認を基本とするが、メールによって持ち回り承認する際は、最終的には委員長の判断に委ねる。
- ② 月刊「エネルギーレビュー」2018年7月号
特集「現代社会における安全目標」に関する執筆が紹介された。
(資料4参照)

(5) 次回 安全目標の検討小委員会の開催

日時 6月14日(木) 9:30~12:00

場所 日本学術会議

話題提供

1. 航空分野の安全目標 ANA 安全推進センター安全推進部
森岡日出男 氏
2. 化学プラント分野の安全 中村昌允 委員

5. 配付資料

- 資料1 今期委員名簿
- 資料2 今期安全目標小委員会活動(案)
- 資料3 安全工学シンポジウム関係資料
 - ① 安全工学シンポジウム開催要領
 - ② 安全工学シンポジウム会告
 - ③ 安全工学シンポジウムOSセッション(案)
 - ④ 安全工学シンポジウムタイムテーブル
- 資料4 月刊エネルギー特集(案)

以上